



広陵中だより



学校の教育目標

～ひびき合い 高め合う生徒～

可見市立広陵中学校

第8号 令和7年10月27日

「人権と命を大切にする学校」「明日も来なくなる学校」「笑顔溢れる学校」

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から

教務主任 田中 聖峰

今年度も、中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。この調査の主たるねらいは、「個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる」ことです。

1 「教科に関する調査」

国語・数学・理科について調査が行われました。各教科の主な課題は次の通りです。

【国語】・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える。

・資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。

【数学】・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明する。

・ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する。

【理科】・考察をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明する。

3教科とも「思考・判断・表現」の観点に弱さがみられ、特に「記述式」の問題に対しての正答率が低くなっていることがわかりました。今年度、当校では ICT 機器を活用しながら、小集団を生かした協働的な学びに力を入れています。その結果、1時間粘り強く、生き生きと問題に取り組む生徒が増えてきているように感じます。今後も、小集団での協働的な学びを積極的に取り入れつつ、「必要に応じた情報を取捨選択し、自分の考えを深める活動」や「状況に応じて適切に説明する活動」等を充実させることで、基礎的な知識・技能の習得を図りつつ、粘り強く学び続ける生徒・自分の意見を表現できる生徒の育成を目指します。

2 「質問紙による調査（一部抜粋）」

質問項目	1・2年生の時に受けた授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか。					
選択肢	あてはまる	どちらかと言えばあてはまる	どちらかと言えばあてはまらない	あてはまらない		
当校 (%)	36.4	47.7	14.8	0		
質問項目	学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどのくらいの時間勉強しますか(塾・家庭教師等含む)。					
選択肢	3時間以上	3～2時間	2～1時間	1時間～30分	30分より少ない	全くしない
当校 (%)	8	19.3	33	22.7	6.8	9.1
質問項目	土・日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどのくらいの時間勉強しますか(塾・家庭教師等含む)。					
選択肢	3時間以上	3～2時間	2～1時間	1時間～30分	30分より少ない	全くしない
当校 (%)	4.5	11.4	31.8	22.7	14.8	13.6

上の表から、当校の生徒が「分きたい」「できるようになりたい」と思い、自ら学びに向かっていることが分かります。一方で、家庭学習の少なさも分かります。家庭で繰り返し学習することで、基礎的な知識が身に付きます。今後も、定期テストの前だけではなく、普段から家庭学習の定着を図るために、学校は働きかけていきます。ご家庭でも声をかけていただけるとありがたいです。

また、上の表にはありませんが、放課後や週末に、家でテレビ・動画視聴、ゲーム、SNS などを行っている割合が非常に高いことも調査結果から見えてきました。SNS や動画視聴などに費やす時間が増えるほど、「教科に関する調査」の正答率が落ちる傾向が明らかにされています。今一度、ご家庭でもスマートフォンやタブレットなどの取り扱いについて確認していただけると幸いです。

今後も、当校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。